

都市構造可視化活用

～まずは知るところから～



香川県 さぬき市
建設経済部 都市整備課

1.「都市構造可視化ツール」をどうする

初めて体験したものの 何をどうすればいいのか



令和元年6月5日
都市整備課職員2名が
「まちづくりの現場で
使える都市構造可視化
研修」を受講

可視化ツールを初めて
体験し、都市構造可視化
の可能性と有用性を
知る

ただ、どのように具体
展開すればよいのか、
ただただ悩む

2.都市計画MPの見直しと立地適正化計画

都市の構造と所管する施策・事業



本市では、ちょうど都市計画MPの見直しと立地適正化計画の策定に取り組んでいる

そのなかで、現行MPに記載された方針は、本来、それぞれの所管課において意識し、実践されるべきところ、都市計画は都市計画部門の守備範囲との認識からか、他人事のような扱い

i-都市交流会議2020

3

2.都市計画MPの見直しと立地適正化計画

都市計画検討庁内プロジェクト会議において



まちの地勢、施設の配置、都市の構造が、所管する施策・事業（特にソフト事業）にどのように影響するのか、認識が薄いのが課題ではないか

このまま次期MP・立地適正化計画の議論をしても大丈夫だろうかという不安

そこで、庁内プロジェクト会議の場で、理解を深める機会を設定

i-都市交流会議2020

4

3.「都市構造可視化」を知る

知らないものは 知るしかない



まずは、知ってもらうことから

覚えたての都市構造可視化ツールを使って

まるでゲームソフトでも見るかのようなハンドルの低さで

「都市構造の可視化」
ひいては「都市構造」
を認知してもらうことが先決

i-都市交流会議2020

5

3.「都市構造可視化」を知る

身近なデータから みんながわかるデータから



平成14年に5町が合併して誕生した本市

人口分布の過去からの経年変化、各エリアの趨勢を確認

昼間人口・夜間人口の分布と変化を確認

公共交通利用圏と働く場所・人口分布・高齢者分布との関係を確認

i-都市交流会議2020

6

4.まとめ

可視化するだけでは…

○説明員が、まだまだ不慣れなため、どう見せればどう伝わるか、どう理解してもらうためにどう見せるか、研究する必要

○もっと日常的にG I Sを使いこなせる環境が必要

○可視化するだけで全てが解決するものではなく、そもそも都市構造、都市計画と所管施策との関連性に対する認識の薄さに対処するため、他のツールとの組み合わせなどについても検討する必要

香川県 さぬき市

都市の紹介



白砂青松の瀬戸内海国立公園・津田の松原が美しい、海の恵みにあふれた「津田町」。

四国最大の前方後円墳である富田茶臼山古墳やみろく自然公園がある、魅力的な田園地帯「大川町」。

志度寺の門前町、また港町として栄えた、平賀源内のふるさと「志度町」。

門入の郷など、美しい自然が残された、のどかな田園地帯「寒川町」。

長尾寺の門前町として栄え、四国巡礼結願の大窪寺へ至る遍路道の「長尾町」。

香川県東部のこの5つの町が2002年4月1日、心ひとつに市制をスタート、県下6番目の市である「さぬき市」が誕生しました。

